



中部大学春日丘高校 SGH課題研究

平成28年度SGH事業報告会・成果発表会

● 平成28年度SGH事業報告会・成果発表会を開催しました。

◆ 開催日時

平成28年12月17日(土)10時20分～15時00分

◆ 開催場所

中部大学 不言実行館 スチューデント・コモンズ、アクティブホール

◆ 来場者

来賓・関係者 45名、保護者 19名、生徒 176名

● 開催目的

平成27年度よりSGH指定を受け、今年2年目となる本校は「中部圏の経済基盤を支える若きパイオニアの育成」をテーマに、カリキュラム開発を進めてきました。これまでの活動を発信するために本会を開催しました。

● 第一部 SGH 情報交換会

二村校長の開会のことは、管理機関である中部大学の山田常勤理事から挨拶をいただいたのち、SGH開発推進部主任の星野より事業概要説明をさせていただきました。カリキュラムの内容だけでなく、生徒の学習の様子を写真や動画を交えてお伝えしました。



● 第二部 基調講演

東京にあるJICA研究所の萱島信子副所長より、「国際協力とグローバルリーダー」と題し、貴重なお話をいただきました。アフリカの教育問題については、手作りの校舎で学ぶ子どもたちについて、小学校からすぐに公用語のフランス語で授業が行われることの是非について教えていただきました。また、ケニアには多くの大学があり、学生たちは日本の学生以上に海外へ留学に行き勉強しており、アメリカやオーストラリア、韓国は日本以上に留学生を受け入れているそうです。グローバル化が進む社会の中で、日本よりも積極的な他国の態度を数字で見ることができました。母親でもある萱島氏は、女性としての視点や母親からの視点として途上国の人々をとらえており、世界の人々に対し人間としての同一性を感じることの大切さも教えていただきました。



日本国憲法に「平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてある国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ」「いづれの国家も、自国のこと



のみに専念して他国を無視してはならない」とあるように、自国がナンバーワンになることだけを考えるのではなく、世界の国々が平和で幸せになることを考えられる日本でありたいと認められました。

● ポスターセッション

昼食時間を利用し、1年生国際コース・啓明コースの成果発表をポスターセッションで行いました。短い時間ではありましたが、関係者の方々に直接お話を聞いていただくことができました。



● 第三部 SGH 成果発表会

これまで生徒たちはSGH課題研究や海外研修などを行い、研究を深めてきました。その成果を発表しました。

〈第一部〉

① 1年生グローバル課題研究(国際・啓明コース)

「水と開発」 岩城亜衣子、根津清香、石井魁人、平松瑞貴、渡邊崇仁

東南アジアでの水質汚染の問題とその浄化について、日本企業が開発した薬剤や浄水自転車について発表し、水質保全の大切さも訴えました。



② 1年生グローバル課題研究(国際・啓明コース)

「東南アジアのゴミ分別と生ごみの再利用」 横山知輝、今井裕貴、川崎太郎、足立亮太、坂本りり

日本のゴミ焼却量が世界一であることから、ゴミ問題について取り上げ、生ごみの再利用にコンポストを活用する必要性を訴えました。



③ 2年生グローバル課題研究(進学コース)

「本当の沖縄を考える」 亀岡直哉、松田陽介、山本滉大、成瀬瑛侑

沖縄修学旅行でのフィールドワークにおいて、自分たちの基地問題に対するイメージと現地の人々とのギャップを知り、批判的思考力の大切さを感じたことを伝えました。



④ 2年生グローバル課題研究(特進コース)

「沖縄戦でのPTSD」 菅原さくら、古田明日香、酒井千尋

沖縄戦後にPTSDを発症している人の多さに注目し、戦争が終わってもなお苦しんでいる人がいることを示し、これからの平和について訴えました。



⑤ インターアクトクラブ グローバル課題研究(1年生啓明コース)

「『となりの』外国人と仲良くなるうプロジェクト」 鈴木桜子、森口鈴花、富田朱里

Think Globally Act Locally をテーマに国際問題は身近なところに存在し、近くにいる外国人と交流し、理解しあうことの必要性を訴え、次の行動計画も発表しました。



〈第二部〉

⑥ 2年生グローバル課題研究(啓明コース)

「インドネシア・シンガポールのポイ捨て意識」 劉羅賢

ゴミのポイ捨てについて人々がどう思っているのかについてアンケートを取り、国ごとの比較を行った結果を発表し、多面的に物事を見ることの大切さを伝えました。



⑦ 2年生グローバル課題研究(啓明コース)

「The sea lane」 若林昴樹

日本が天然資源を輸入する際の航路「シーレーン」について説明し、シンガポールが日本の輸入にとって大きなポイントとなっていることを伝えました。

⑧ 2年生グローバル課題研究(国際コース)

「Equality of Education」 片桐有紗

ノーベル平和賞受賞者のマララ・ユスフザイに影響を受け、パキスタンの教育不平等について調べ、世界での教育格差の是正の必要性を訴えました。

⑨ 2年生グローバル課題研究(国際コース)

「The Infant Mortality」 上野楓

西アフリカのシエラレオネにおける乳児死亡率が世界で一番高いことを挙げ、歴史・文化・宗教に関わることを伝え、よりよい家庭を築くための改善策についても述べました。



● 総評

SGH外部評価委員である名古屋市立大学 別所教授にご高評いただきました。簡単に結論や答を出してしまうのではなく、多面的・批判的に物事をとらえ課題探究をしていくことの大切さを伝えていただきました。

★出席者からの声★

- ・SGHの取り組みにより、全容がよく分かり、積極的に課題の解決に向かう姿を感じることができた。
- ・生徒の皆さんがそれぞれの課題を見つけ、その解決に取り組む姿勢、またプレゼンする能力と、質問に対しての自分の意見をしっかり述べられる事がすばらしいと感じました。
- ・様々なテーマをかかげ、様々な切り口から分析し成果を発表している。
- ・若い人が異国、異文化に興味・関心を持つことは非常に重要。まずは体感できる機会が必要だと思います。